

第2回 新任教員セミナー

国際文化学研究科の新任教員の研究内容を紹介・発信し学部や大学院での学術交流を促進することを目的に開催するセミナーシリーズです。

第2回は近現代のドイツ史がテーマです。

日時：2022年7月1日（金）13:20～14:20

場所：オンライン開催（Zoom）

講師：衣笠太郎（国際文化学研究科講師）

「ドイツ帝国の解体と「未完」の中東欧：

第一次世界大戦後のオーバーシュレージエンにおける分離主義運動」

司会：高田映介（国際文化学研究科講師）

コメンテーター：新川匠郎（国際文化学研究科講師）

申込方法：お申し込み専用フォーム <https://bit.ly/Promis2022Shinnin2>

※お申し込み後、自動返信にてオンライントークにアクセスするためのURLを送付いたします。

講師略歴

衣笠太郎

1988年、鳥取県生まれ。博士(学術、東京大学)。

秀明大学学校教師学部助教を経て現職。

専門はシレジア史、中・東ヨーロッパの近現代史、ナショナリズム史。

主な業績は「第一次世界大戦直後のオーバーシュレージエン／グルヌィシロンスクにおける分離主義運動」（博士論文、2020年）、『旧ドイツ領全史』（単著、パブリブ、2020年）、『ヨーロッパ複合国家論の可能性：歴史学と思想史の対話』（分担執筆、ミネルヴァ書房、2021年）、『中欧・東欧文化事典』（分担執筆、丸善出版、2021年）など。

